

第 51 回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：2022 年 11 月 30 日（木）14：00～17：00

2. 開催場所：一般社団法人 日本電気協会 A, B 会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

出席委員：坂元主査(原子力安全推進協会)，鈴木副主査(東京電力 HD)，
阿部重(四国電力)，阿部雅(東北電力)，池本(北海道電力)，市川(電源開発)，
梅谷(三菱重工業)，小澤(中部電力)，上都(東芝エネルギーシステムズ)，
川越(関西電力)，迫田(原子力発電訓練センター)，野村(北陸電力)，
東本(日本原子力発電)，松本(中国電力)， (計 14 名)

代理出席：江口(九州電力，新立委員代理)，加藤(BWR 運転訓練センター，野地委員代理)
(計 2 名)

欠席委員：橋本(日立 GE ニュークリア・エンジニア) (計 1 名)

常時参加者：小峰(三菱重工業) (計 1 名)

説明者：なし (計 0 名)

オブザーバ：君和田(電源開発) (計 1 名)

事務局：葛西(日本電気協会) (計 1 名)

4. 配付資料：別紙参照。

5. 議事

事務局より，本会にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。

(1) 代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバ，委員定足数，配布資料の確認

事務局より代理出席者 2 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき，主査の承認を得た。委員総数 17 名に対して，本日の出席委員数は代理出席者も含めて 15 名であり，分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく，検討会決議に必要な委員総数の 2/3 以上（12 名以上）の出席が確認された。その後，オブザーバ 1 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 11 項に基づき主査の承認を得た。その後配付資料の確認があった。

事務局より，資料 No.51(1)-1 に基づき，下記委員の交代について紹介があり，委員候補については分科会規約第 13 条（検討会）第 4 項に基づき，次回運転・保守分科会に諮る予定と説明があった。その後退任委員，委員候補より挨拶があった。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ・委員退任 阿部 委員（東北電力） | ・委員候補 佐々木 氏（同左） |
| ・委員退任 市川 委員（電源開発） | ・委員候補 君和田 氏（同左） |
| ・委員退任 野地 委員（BWR 運転訓練センター） | ・委員候補 加藤 氏（同左） |

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No.51(2)に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく決議の結果、5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) (4) JEAC4805 及び JEAG4802 発刊について

事務局より、資料 No.51(3)シリーズ、資料 No.51(4)シリーズ及び資料 No.51(3)-3&4 シリーズに基づき、JEAC4805 及び JEAG4802 発刊について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 発刊迄の中で少数意見と保留意見があったが、公開したほうが良いというものがあるか意見を頂きたい。
- ・ 10 月 22 日予定の運転・保守分科会において、少数意見として残す／残さない、公開する／しない、というのは論点になるということか。
- 公開するものは公開の内容や記載ぶり等が上程されて審議になる。公開しないものは報告が行なわれないため論点とならない。原子力規格委員会の規格作成の手引きに「少数意見等については原子力規格委員会のウェブサイトに掲載することができる」となっており、検討会か分科会が公開した方が有益であると判断した場合には公開することになるが、検討会で有益であると判断したものを分科会に上げていき、分科会も有益であると事であれば、原子力規格委員会三役の確認を経てウェブサイトに掲載することになる。
- ・ 検討会としては課題として考えていくものであり、原子力規格委員会のホームページには記載しないことにする。
- ・ 規格の講習会については、JEAC4805、JEAG4802 を使用する者は限られているので実施しない。
- ・ 運転管理検討会では、JEAG4802 の次回改定時に JEAC4111 を上位規格としたほうが良いとの考えもありうるが、他の検討会と足並みを揃えた上で対応した方が望ましく、上位組織の方針を確認するために、運転・保守分科会に JEAC4111 の方針について確認するイメージで良いか。
- それで良いと考える。
- ・ 規格発刊後に誤記を発見した場合には、運営規約細則に従い、誤記のグレード評価後に、各グレードに応じた対応を実施する必要があるため、運営規約細則を再確認しておくこと。

(5) 2023 年度活動計画について（審議）

主査より、資料 No.51(5)シリーズに基づき、2023 年度活動計画について説明があった。

審議の結果、2023 年度活動計画を運転・保守分科会に上程するかについて決議の結果承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ JEAC4804 について「オンラインが不測の事態に対応ではなく、一般的な方法と扱えるよ

う反映する。」は、「反映を検討する」の「検討」が削除されているが、今後、原子力規制庁との調整も必要であり、まだ検討段階ではないのか。

- 「一般的な」とは「不測の事態」だからオンラインで対応しているのではないということ。
- ・ それは原子力規制庁との調整を行わずに実施できるのか。
- 分からない。オンラインを主流として実施する意味合いではなく、コロナ禍の様な「不測の事態」でなくても、事業者が必要な時にオンラインで実施できる選択肢を増やすと良いと思っている。その検討したいと考えているが、反映は決定ではないことから「必要に応じて」を追記する。
- ・ JEAC4804 の特重の記載は、次回改定時に検討をするということか。
- その通り。入れられるものがあれば入れていこうと考えている。
- ・ 特重施設の体制について、審査資料を確認すると、基本的に特重は当直長も使えない状態になっており、検討の必要は無いと思われる。特重施設は本部指示で動くようになっている。
- JEAC4804 の前回改定時にも述べたが、特重施設の体制は大規模な自然災害やテロとして、審査資料としては当直長も使えない状態を一つの仮定、審査基準として設定されているだけの話であり、「現実としてシビアアクシデントに至るプラント状況において特重施設は活用しないのか」と当時の原子力規制委員会 更田委員長から述べられて、各事業者は同意し保安規定に特重施設のシビアアクシデント活用を明記しているのではないか。
- 保安規定に係るため、特重を運転責任者試験の中で試験の範囲に含まれてくるのであれば、検討するということである。
- ・ 他に意見がなければ、今回の意見を反映し、2023 年度活動計画を運転・保守分科会に上程することについて決議を取りたいと思う。

- 特に意見・コメントがなかったため、2023 年度活動計画を運転・保守分科会に上程することについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく決議の結果、5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(6) JAEAC4804 改定検討について

主査及び事務局より、資料 No.51(6)シリーズに基づき、JEAC4804 改定検討について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 規格改定は順調に進められても、1 年以上の日数はかかると思う。
- 規格改定は歴代の最短でも 1 年 4 カ月かかっているため、2 年程度は必要になると考えて進めた方が良くもしいない。

(7) 主査選任

事務局より、資料 No.51(7)シリーズに基づき、主査選任について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 規約上主査の任期は2年となっており、4回まで再任できている。
- ・ 坂元主査は、平成23年9月7日の第30回運転管理検討会で初めて主査に選任され、10年以上主査を選任されている。
- ・ 坂元主査の再任記録は平成26年1月21日の第33回運転管理検討会(1回目)、令和2年5月26日の第39回運転管理検討会(2回目)しかないが、1回目と2回目の期間が空いており、記録抜けを想定して第39回運転管理検討会の議事録の通り再任(3回目)となっている。
- ・ 主査は規約上、委員の互選により選任されるので、主査の推薦をお願いする。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 各出席委員全員より、坂元現主査を主査に推薦するとの発言があった。
- ・ 分科会規約第13条(検討会)第3項に基づき坂本主査の再任(4回目)が決定した。
- ・ 坂元主査より、鈴木委員を引き続き副主査に指名した。

○ 坂元主査が再任(4回目)し、主査の再指名により鈴木委員が副主査と~~に~~なった。

(8) その他

1) 運転責任者判定試験実施方法の考え方について

坂元主査より、資料 No.51(8)シリーズに基づき、運転責任者判定試験実施方法の考え方等について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 対面式で試験を行うにしても PCR 検査の要求までは必要と思う。
 - ・ 各電力会社に出張に関する決まりがあるため、それに従えば良いと思う。
- 出席側はそれで良い。ただし受け手側はしっかり対策をすることだと思う。一度実績を作って、出席者で情報交換を実施したりも出来るものとする。
- ・ 資料 No.51(8)-3 の女性運転員情報交換トライアルについては、女性からダイレクトに情報交換で言ってもらっているので、何か返してあげないといけない。しかし、当直課長になれないのは、一番ハードルが高い。組合対応にもなると思われるため心配している。

以上

第 51 回運転管理検討会 配布資料

資料 No.51(1)-1	原子力規格委員会 運転・保守分科会 運転管理検討会委員名簿
資料 No.51(1)-2	第 51 回運転管理検討会（参加可否）
資料 No.51(2)	第 50 回 運転管理検討会 議事録(案)
資料 No.51(3)-1	JEAC4805-2022 発刊について（原子力規格委員会ホームページ）
資料 No.51(3)-2	添付 JEAC4805 検討会等 気付き事項リスト
資料 No.51(3)-2-参考 1	JEAC4805 改定案(運転・保守分科会審議・書面投票)での意見対応リスト
資料 No.51(3)-2-参考 2	JEAC4805 改定案（書面投票）に関する原子力規格会から頂いた意見等
資料 No.51(3)-2-参考 3	JEAC4804-2021「原子力発電所の運転責任者の判定に係る規定」改定案に関する審議時意見と回答
資料 No.51(3)-3	添付 JEAG4805 検討会等 気付き事項リスト
資料 No.51(3)-3&4-参考	書籍名：原子力発電所運転員の教育・訓練指針（JEAG4802-2022） 編集スケジュール
資料 No.51(3)-3&4-参考 2	付則-1 講習会開催に関する取扱い（活動の基本方針抜粋）
資料 No.51(3)-3&4-参考 3	規格への反対・少数意見用への対応状況の記載（規格作成手引き抜粋）
資料 No.51(3)-3&4-参考 4	誤記発見時の審議，対応について（運営規約細則抜粋）
資料 No.51(4)-1	JEAG4802-2022 発刊について（原子力規格委員会ホームページ）
資料 No.51(4)-2	添付 JEAG4802 検討会等 気付き事項リスト
資料 No.51(4)-2-参考 1	JEAG4802 改定案(運転・保守分科会審議・書面投票)での意見対応リスト
資料 No.51(4)-2-参考 2	JEAG4802 改定案(書面投票)に関する原子力規格委員会から頂いた意見等
資料 No.51(4)-2-参考 3	【検討会当日に資料として追加】第 48 回 運転・保守分科会議事録 fix
資料 No.51(4)-3	各社分結合（まとめ）JEAG4802 気付き事項（次回改定時反映）
資料 No.51(4)-3-参考	次回送りの箇所
資料 No.51(5)-1	2023 年度各分野の規格策定活動
資料 No.51(5)-2	原子力規格委員会 運転・保守分科会 2023 年度活動計画（案）
資料 No.51(6)	次回(R-6)改正時の手続きスケジュール（案）について
資料 No.51(6)-参考 1	○原子力発電所運転責任者の合否判定規程の確認スケジュール
資料 No.51(6)-参考 2	【纏め】（添付）JEAC4804 気付き事項 210603（次回改定時検討）
資料 No.51(7)	分科会規約第 13 条（検討会）
資料 No.51(7)-参考 1	第 30 回 運転管理検討会 議事録
資料 No.51(7)-参考 2	第 33 回 運転管理検討会 議事録
資料 No.51(7)-参考 3	第 39 回 運転管理検討会 議事録
資料 No.51(8)-1	運転責任者試験等の実施方法について
資料 No.51(8)-2	運転責任者班試験の実施方法について・・・段階的復帰案について
資料 No.51(8)-3	女性運転員意見交換会トライアルについて